

6月定例会の審議状況

○は賛成 ■は反対

Table with columns for item number, item name, council members (創政会, いせはら未来会議, 公明党, 共産党, 神奈川, 光風会), and decision result.

市民の意見を国政に反映させるため 意見書を提出しました

●教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

近年、学校現場に対する家庭や地域からの要望は多様化・複雑化している。また、次期学習指導要領の実施に向けては、外国語科の導入における人員不足や、プログラミング教育におけるICT環境の地域間格差などの課題が顕在化してきている。

子どもたち一人一人へのきめ細やかな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員定数改善と教育予算の増額が不可欠である。しかし、義務教育費国庫負担制度は、国負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫し、教育条件の格差が生じているのが現状である。

義務教育の根幹は、全国どこでも一定の教育を子どもたちに保障するものであるため、自治体の財政状況に左右されることなく、安定した義務教育を実施するためには、義務教育費国庫負担制度の堅持は重要である。

よって、国におかれては、子どもたちに豊かな教育を保障するために、次の事項の実現を図られるよう、強く要望する。

1 子ども、保護者のニーズに応じたきめ細かな教育を実現し、豊かな教育環境を整備するため、基礎定数化を含めた計画的な教職員定数改善を早急に推進すること。

2 豊かな学びの環境を創出し、保護者負担軽減のため、教育予算を増額すること。

3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国の負担を最低でも従前の2分の1まで拡充すること。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣



議会 日誌

6月

- 7日〜28日
・6月定例会
18日・総務常任委員会
・産業建設常任委員会
19日・教育福祉常任委員会
25日・議会運営委員会
28日・議会広報委員会

7月

- 2日・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会
3日・山口県山陽小野田市議会視察来庁
19日・全員協議会
・会派代表者会議
・議会広報委員会
22日・県央八市議会議長連絡協議会定例会・議長研修会

会議録をご覧ください

議会だよりでは、各議員の質問・答弁の一部を要約し、掲載しています。

詳しい内容は、市議会ホームページの会議録検索システムか、会議録をご覧ください。

会議録は、図書館、市役所1階市政情報コーナーなどでご覧いただけます。

(発行時期は議会事務局までご確認ください)

編集後記

6月定例会は6月7日から6月28日までの22日間開催され、市長提出議案、議員提出議案等を可決、同意しました。

近年では、高齢者や子どもたちが関わる交通事故が多発し対策が急がれる中、一般質問において、多くの議員からさまざま

議会広報委員会

- 委員長 安藤 玄一
副委員長 米谷 政久
委員 宮脇 俊彦
大垣 真一
今野 康敏

- 長嶋 一樹
宮脇 俊彦
大垣 真一
今野 康敏
米谷 政久
安藤 玄一



さまざまな発信、努力をしてみたいです。(副委員長 米谷)

伊勢原市の未来が希望に満ちあふれたものになるよう、市議会としても